

Wing

Vol.44

いわき市男女共同参画情報紙



「男女共同参画の日」事業 仕事と育児・介護の両立に向けて

- ◎特集……………P 2～P 7
講演会・パネルディスカッション
イクメン・カジメンフォトコンテスト入賞作品
男女共同参画に関する川柳入賞作品
- ◎事業報告……………P 7
- ◎いわきの“さんかく”さん……………P 8



男女共同参画の日

●2015年11月8日(日)／総合保健福祉センター

いわき市では、男女共同参画のさらなる推進を図るため、平成23年4月1日に「いわき市男女共同参画推進条例」を施行し、11月の第2日曜日を「男女共同参画の日」と決めました。

今年度は、女性活躍推進フォーラムとして、講演会とパネルディスカッションを行いました。

また、川柳、イクメン・カジメンフォトコンテストの入賞作品の表彰と「いわき市男女共同参画推進シンボルマーク」の表彰、小学生が参加する「あそびばスタンプラリー」も市民ボランティアの協力のもと同時開催し、「男女共同参画」についての理解を深めました。

いわき市男女共同参画推進シンボルマークが決定しました。

応募数は、「小学生・中学生の部」18点、「高校生以上の部」4点、合計22点の応募があり、厳正な選考の結果、小名浜東小学校2年 須永 優樹さんの作品に決定しました。決定した原案を基にデザイン化しました。

いわき市男女共同参画推進シンボルマーク



講演会

仕事と「育児」・「介護」の両立に向けて



講師：山極 清子 (やまぎわ きよこ)さん

(株)wiwiw 社長執行役員・経済管理学博士
プロフィール
立教大学大学院ビジネスデザイン研究科特任教授を経て昭和女子大学客員教授。
1995～97年に株式会社資生堂から21世紀職業財団に派遣される。復職後は1997～2009年まで資生堂本社人事部、経営改革室、CSR部の各次長などを歴任、女性活躍の推進、育児、介護との両立支援による働き方改革を行う。
約1,000社の現場の声を基に、男女ともにキャリアと育児・介護を両立できるような制度設計や、生産性を向上させる働き方等を企業に提案している。



□社会の動き

日本は高齢化が進み、今後5年以内で現在介護していない40歳以上の約8割に、親族を介護する可能性があります。また、晩婚化により、育児と介護が重なるため、女性の負担がさらに多くなることは避けられません。

□女性活躍とワーク・ライフ・バランス

わが社ではこの5年間、午後6時には従業員を帰宅させ、家族との食事や趣味の時間を充実させるようにしています。短時間労働でも生産力を落とさないよう努力した結果、業績はとて上りました。ワークとライフを同じように充実させれば、個人の幸福感や生きがいが大きくなり、会社でも新しい価値あるものが作れるのです。企業業績や成長性の高い企業は、女性管理職比率の高い企業だと言えるのです。

□仕事と育児の両立

女性は入社しても6割が離職してしまいます。また、女性が昇進を望まない理由の第一位は「仕事と家庭の両立が困難になるから」です。日本的雇用慣行において、女性は固定的な性別役割分担から離れられず、時短勤務で、母親として仕事と育児を両立しようとする「マミー・トラック」に陥る傾向にあります。女性だけが家事・育児を担うのではなく、男女ともに両立を目指すという意志が不可欠です。

会社がやるべき取り組みとは何でしょうか。「仕事と育児の両立支援させること」を全社で共有します。女性の仕事アップを後押しする制度と仕組みづくりも理解します。また、評価軸は働く時間ではなく成果であることなど、皆で共通理解を深めるべきです。

産休・育休は仕事と育児の両立準備期間であり、男女ともに人として成長するチャンスだという認識を持つようにします。仕事の幅が広がり生産性が高くなるばかりでなく、コミュニケーション能力や人材育成力、組織運営力も高まるのです。

□仕事と介護の両立

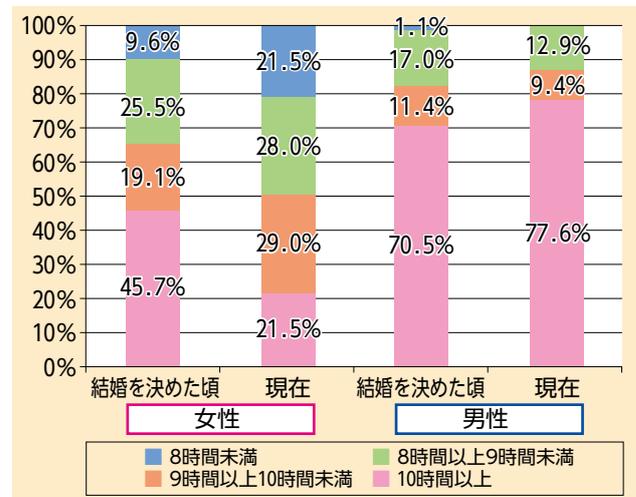
男女とも50歳以上になると介護している割合が増え、男性も多くかかわっています。しかし、勤務先で話したり相談したりする割合が3割もないことから、上司は人事総務に伝えるよう働きかけることが大切です。介護の課題に直面した際、仕事継続の可能性や有給休暇取得等、働き方を見直す必要も出てきます。長時間労働削減には3つの業務プロセスが挙げられます。

第一に、規定概念の払拭です。時間も人も有限である認識を持つことが大切です。第二に、仕事のやり方を見直します。第三に、時間軸から成果軸へ評価を変えます。

公的介護保険制度や両立支援制度の内容や運用を正しく理解することも重要です。どこへ相談したら良いのか、相談窓口を確認しておくことも必要です。事前の心構えを持つようにしましょう。介護も育児同様に、第三者の手を借りながら乗り切ると決意することが大切です。

●ライフステージ別 仕事の拘束時間 (1日平均、休憩時間含む)

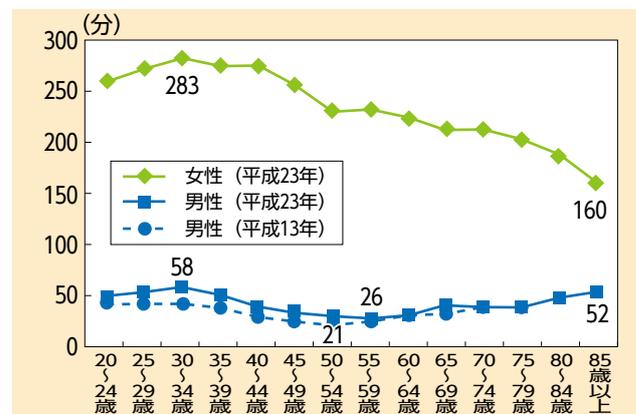
出産を機に、仕事時間に関して、女性は減らす一方で男性は増やす



出所：お茶の水女子大学「ジェンダー・格差センシティブな働き方と生活の調和」プロジェクト2013年

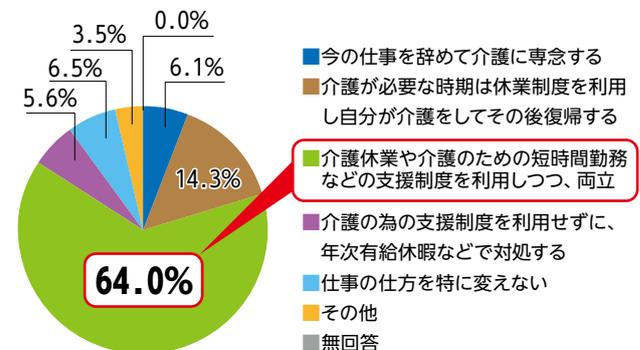
●有業・有配偶者の1日当たり平均家事関連時間 (男女別)

女性が背負う1日当たりの平均家事関連時間は夫の3倍以上



出所：「平成25年度版男女共同参画白書」

●介護の課題に直面した時の希望する働き方



出所：株式会社wiwiv「仕事と介護の両立支援事業 社内アンケート(事前)」(平成26年度 厚生労働省委託事業)より作成

パネルディスカッション

「男女がともに仕事と生活を 両立していくために」

○コーディネーター

山極 清子(やまぎわ きよこ)さん

(株)wiwiv 社長執行役員
経済管理学博士



○パネリスト



奥瀬 円(おくせ まどか)さん

社会保険労務士法人
HRM総合事務所 代表社員

中小企業診断士。特定社会保険労務士。中小企業診断士受験勉強は一人息子が1歳のときにスタート。「地域が育てた子どもたちが地元で貢献できる起業家となる」ための起業家育成を目指す。



前田 眞二(まえだ しんじ)さん

アルパイン株式会社
管理副担当理事

1982年アルプス電気(株)入社。1991年アルパイン(株)人事部へ異動。2003年より5年間、ドイツの現地法人へ出向し、帰任後は、アルパイン(株)人事総務部長を務め、現在は管理副担当理事として女性の活躍推進・雇用拡大に努めている。



千葉 悦子(ちば えつこ)さん

福島県男女共生センター 館長

平成22年3月、(財)福島県青少年育成・男女共生推進機構副理事長に就任し、同年4月から福島県男女共生センター「女と男の未来館」館長。福島大学副学長。専門分野は、ジェンダー学習論、地域づくり教育論、農民家族論、生活構造論など。



清水 敏男(しみず としお)

いわき市長

いわき市議会議員2期
福島県議会議員4期
平成25年9月28日から現職

※役職名等は開催当時のものです



【自己紹介とこれまでの取組み】

奥瀬さん

私は震災後、企業に復旧補助金や従業員の賃金保障の助成金を案内し、申請手続きを行ってきました。また、お客様はもちろんのこと、自事務所の従業員に対しても心理面でのフォローをしてきました。関わっている企業が震災後も事業を続けていること、自事務所の従業員が退職せずに働き続けていることが取組みの成果です。

前田さん

現状、当社社員の男女比率は8:2ですが、女性の採用比率50%を目標に様々な対策を進めており、男性の育児休暇も徐々に増えてきました。昨年からは、社内の女性を集め「女子会」という組織を作り、現行制度の見直しをしています。今後は女性をもっと活躍できるよう、業務にかけた時間よりも成果で評価を行えるような人事制度の見直しも進めます。

千葉さん

私は、2010年に福島県男女共生センターの館長に就任しまして、これから地域に男女共同参画を根付かせようという時に東日本大震災が occurred。震災時は県内の各男女共同参画センターとの連携・協働により、女性視点での被災者支援活動が出来ました。

清水市長

私は子育て支援や男女共同参画に力を入れてきました。市長に就任して初年度に女性課長を5人登用し、次の人事で3人登用して8人に増やしました。また、支所長にも初めて女性を登用しました。市役所の女性管理職登用率は、平成22年度は2.9%でしたが、平成27年度は7.8%に上昇しました。

また、毎週水曜日に定時退庁日の実施や、職員が子育てに積極的に関わられるように、子の看護休暇を学校行事に参加できる子育て休暇に制度を改正するなど、働きやすい職場づくりに努めています。

【今後の取組み】

清水市長

市内の現状を把握するために、平成26年度には「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施し、今年度は「ワークライフバランスに関する企業の意識・実態調査」を実施しました。市として、女性活躍推進法に規定されている「特定事業主行動計画」を策定します。まず市役所が実践し、市内の大手企業さんへ普及啓発をしていきたいです。任期中に女性部長を誕生させたいと思います。

千葉さん

今後は、高齢化で地域の担い手が減るので、震災を機に本領を発揮した女性組織の力を活かしなが
ら、男女が協力して地域を支えられるよう支援します。また、企業に対して、男女共同参画やワークライ
フバランスに関する出前研修を行っていきます。

奥瀬さん

私が、息子と二人暮らしでも、仕事や資格取得の勉強を継続することができたのは、地域の方が子育
てを助けてくれたからです。いわきで格好良く働く女性が増え、その姿を見ながら地域に育てられた子
どもたちが、県外へ進学しても卒業後は地域に戻って起業するという流れができるよう起業家育成に力
点を置き、その実現を図ることを目指していきます。

前田さん

私が駐在していたドイツでは、女性の社会進出こそが国力の向上につながるという考え方のもと、官
民ともに女性比率の目標を定めて計画的に推進しています。今後は、女性の採用とリーダーの育成、両
立支援施策をさらに強化して取り組みます。また、行政と連携して、いわきを男女共同参画先進地に変え
ていきたいと思ひます。

【最後に】

清水市長

やはり女性目線で考える市役所にしなくてはいけないので、いわき市初の女性部長が早期に誕生で
きるよう頑張ります。私が受ける表敬訪問も女子学生が多く、確実に教育においても社会への女性参画
に関する意識改革がみられます。今回のようなディスカッションを通じて自分なりに考え、そして市でも
改革していきたいと思ひます。

あそびばスタンプラリー



お父さん・お母さんが講演会に参加している間、子どもたちは「あそびば」をまわり楽しく過ごしました。



イクメン・カジメンフォトコンテスト入賞作品



最優秀賞



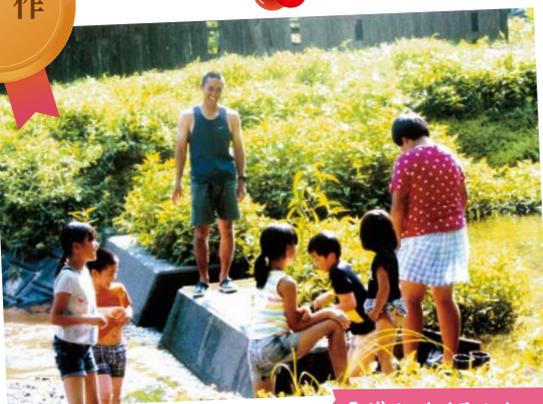
「りょうくん、あ〜ん」
(松崎 晴美さん 平)

優秀賞



「お父さんとお風呂、いい湯だなあ〜」
(鈴木 梨乃さん 平)

佳作



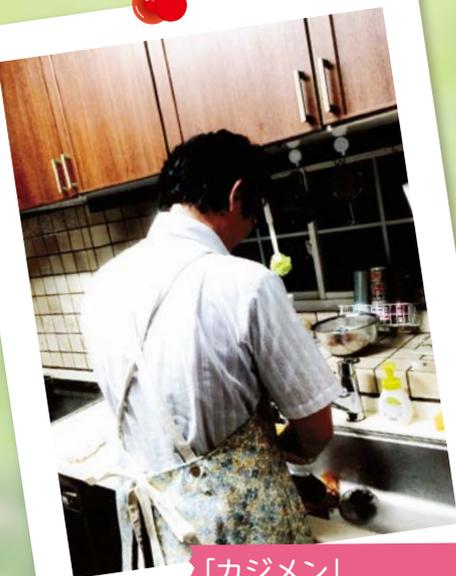
「ガキ大将！」
(阿部 悠子さん 三和)

佳作



「お弁当、おいしいね」
(矢之目 隼都さん 四倉)

審査員特別賞



「カジメン」
(斉藤 さらさん 小名浜)

審査員特別賞



「パパお仕事行かないで〜！！」
(藤井 由香里さん 平)

男女共同参画に関する川柳入賞作品

1. 小学生・中学生の部



最優秀賞

パパとママ たすけあってる わたしもね (森谷 月紫さん 鹿島小学校2年)



優秀賞

わが家にも 改正法案 家事分担 (西田 晴喜さん 玉川中学校3年)



佳作

はやり好き だったらパパも イクメンして (川崎 結愛さん 久之浜第一小学校4年)



審査員特別賞

参画は 意識改かく 思いやり (鈴木 太樹さん 好間第四小学校5年)

しゅうまつの 朝の楽しみ パパごはん (松崎 悠希さん 久之浜第一小学校4年)

むりやりの さん画よりも かんしゃの言葉 (宗亭 咲良さん 小川小学校3年)

2. 高校生以上の部



最優秀賞

差別なし 男と女は 同じ人 (佐藤 志保さん 平商業高等学校1年)



優秀賞

誰だって 見上げる空は みな同じ (芳賀 奎奈さん 平商業高等学校1年)



佳作

思いやる 心で参画 支え合い (猪狩 喜平さん 平)



審査員特別賞

差別なし より良い社会 待っている (下山田 美咲さん 平商業高等学校1年)

キッチンに パパのエプロン 仲間入り (田子 三郎さん 小名浜)

ママ会議 子ども喜ぶ パパ料理 (神林 ノブ子さん 平)

3. 学校賞

小川小学校 藤間中学校 平商業高等学校



転入女性交流のつどい

～ようこそ！いわき市へ～

第1回目は、いわき市に転入して3年以内の女性15名が参加し「バスツアー」が行われました。初めに夕月蒲鉾工場でかまぼこ作りを体験しました。その後昼食をとりながら、参加者が自己紹介などで交流を深めました。

第2回目の「クリスマス交流会」には、転入女性28名と「いわき転入女性の会」会員16名が参加しました。

転入女性の会会長や男女参画センター所長のあいさつの後、自己紹介をし、お菓子やお茶をいただきながら楽しい時間を過ごしました。ドキドキワクワクのプレゼント交換もありました。託児サービスもあり、安心していわきの魅力や生活情報などを話すことができました。全国各地から来た様々な年代の転入女性が集い、有意義なひと時となりました。

【主催：いわき転入女性の会】

2015年10月23日(金) バスツアー



2015年12月4日(金) クリスマス交流会



いわきのさんかくさん

～いわきの“さんかく”さんとは？～

いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。



山田 亜希子
(やまだ あきこ)さん

1975年いわき市生まれ。島根や東京、愛知での生活を経ていわきに戻る。1男2女の母。

Q今、どのような活動をされていますか？

A あそび工房代表をしています。また、アリオスペーパー、キッズ★アリベ編集部員です。フリーペーパー『こどもたち』でコラムを担当しています。ブログとFacebookでは『いわきこどもプロジェクト』というページを作り、子育て情報を発信しています。それがご縁で昨年度より福島県働く人づくり応援事業“おしごととCAFÉ for mama”のスタッフとして事業のお手伝いをさせていただいています。

Q活動のきっかけは？

A アリオスのプロジェクト“アリオス・プランツ!”に参加したことがきっかけです。「アリオスやまちなかを使って何か面白いことはできないかなあ」という計画を話し合う場で、「アリオスを子どもの遊び場にしたい!」という私のひと言から“アリオス・プランツ!こどもプロジェクト”が生まれました。それが現在の“あそび工房”の活動につながっています。

Q活動から得たこと、また今後の抱負は？

A ファシリテーターをつとめている“おしごととCAFÉ for mama”では働くことについていろんなママ達とグループ毎に話をします。自分が働いていただいたお給料から「パパ、いつも頑張ってくれてありがとね」とお小遣いを渡していたというママや、子育てだけでなく介護と仕事を両立させているママの話など、今まで考えもしなかった話題がでくるので私自身の気づきも多いです。仕事をしていなくても、ママがいつも生き生きしているような家庭作りのお手伝いができたらいいなと思っています。

- 『いわきこどもプロジェクト』ブログ
<http://iwakikodomo-pj.blogspot.jp/>
- Facebook
<https://www.facebook.com/iwakikodomo.pj/>

私のおすすめの一冊



「たいせつなきみ」

マックス・ルケード作

この絵本は、ぜひ大人の方に読んでいただきたい一冊です。たとえどんな自分であっても、自分を大切に思っている人がいる、そして自分にレッテルを貼っているのは、実は自分自身なのだ気づかせてくれます。

男女共同参画センターでは、「いわきのさんかくさん」を募集しています。自薦・他薦は問いません。
※詳しくはセンターまで

Wing いわき市男女共同参画情報紙 ウィンガー vol.44 2016年3月18日 発行

発行：いわき市 市民協働部 男女共同参画センター
〒973-8408 いわき市内郷高坂町四方木田191番地
tel.0246-27-8694 fax.0246-27-8641

編集長：松本麻衣子
編集委員：菅野栄子， 宮沢美智子， 馬上裕子

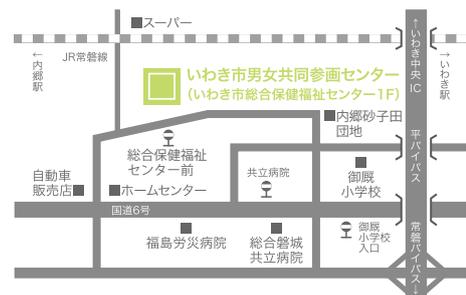
あなたもWingに参加してみませんか。
ご意見・ご感想をぜひお寄せください。
E-mail: danjokyodosankaku@city.iwaki.fukushima.jp



Wing は、3月・10月発行

いわき市男女共同参画センターは、市民と行政の協働により男女共同参画社会の実現を目指します。男女共同参画社会についての啓発、人材育成、情報収集・提供、活動・交流支援を行っています。

執務時間：8:30～17:15
休館日：土・日曜・祝日などの休日、12月29日～1月3日



UD 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。